

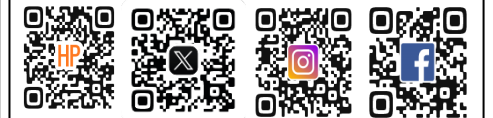
動き出した活動

新しい3登録団体を迎え、ボランティアセンターの活動も活気づいてきました。各団体・個人登録各位のご協力に感謝しています。(ボランティア相談員一同)

ボランティア活動調整報告 【当ボランティアセンター取り扱い調整分(施設・団体に限る)】

月	日	活動先(施設・団体)	活動分野	活動内容	人数	対応(V・校区・団体)
12	20	(株)エイチ・ツー・オー商業開発 イズミヤSC寝屋川	一般	行事援助	7	個人V他
	23	障害者生活介護 さん・すまいる	障害者	行事援助	3	花あそび 花奏
1	13	白井内科医院 通所リハビリテーション	高齢者	行事援助	3	うきうきわくわく音心の会
	14	楽寿会	高齢者	行事援助	6	柚子華 百楽の会
	16	梅が丘地域協働協議会 高齢者部会	高齢者	行事援助	5	トパーズ
	22	寝屋川市介護者の会	一般	行事援助	3	うきうきわくわく音心の会
	23	ラフィン・ハーツ グレイス寝屋川	高齢者	行事援助	3	うきうきわくわく音心の会
	24	(株)エイチ・ツー・オー商業開発 イズミヤSC寝屋川	一般	行事援助	7	個人V他
	26	NPO 友・遊 ほほえみくらぶ	高齢者	行事援助	3	「夢楽らいぶ」一座
		9			40	

令和5年12月～令和6年1月 集計：のべ活動日数 9日 活動人数 40人



ホームページ エックス インスタグラム フェイスブック

編集発行：寝屋川市社会福祉協議会ボランティアセンター
電話：072-838-0400
URL <http://www.neyagawa-shakyo.or.jp>

上記のQRコードを携帯電話やスマートフォン等から読み取ると、本会の各SNSページにつながります。

若い世代に伝えたい ボランティア活動者のおもい

若い世代にボランティア活動のやりがいや喜びを伝えたいとおもいが高まる今「昔あそび」をとおして、高齢者と子供たちのつながりづくり、また、ボランティアセンターでは、小・中・高・大学生が主体的に関わることのできる事業などを計画しています。

けん玉・おじゃみ・羽子板など、昔のおもちゃを前に思い出を語り合い、子供に伝えたい～のおもいが重なり合いました＝2月8日

そのひとつシニアボランティア活動者のための「昔あそびボランティア養成講座」が市民会館研修室で、2月5日、8日の2回にわたり開かれました。

1日目は新崎国広（一般社団法人ボランティアセンター支援機構おおさか代表理事・ふくしと教育の実践研究所 SOLA 主宰）さんから、○高齢者しかできないボランティア活動とは？～昔遊び・昔語り～○参加者が「助け上手 助けられ上手」になり、や



る気になって元気になるなどの講義を受けました。



「子供の輝く未来を応援しませんか？」の講師の語りかけに耳を傾ける参加者＝2月5日

2日目は啓明校区で実施された「昔あそび」の様子などが伝えられ、後のグループワークでは、昔の思い出のあそびなどが続出。80歳代の参加者からは「遊び道具がなく、陣地取り・缶蹴り・けんば・・・などを工夫しながら楽しんでいた」など、話が弾み「この楽しかったあそびを、ぜひ、今の子供たちに伝えたい」とのおもいが寄せられました。(2面に関連記事)

新しい登録団体

- 花あそび 花奏 (かなで)
花の寄せ植えアレンジメント、絵本の読み聞かせなど
- 淀川太鼓
和太鼓の演奏
- リップル アンサンブル
幅広いジャンルの曲をトランペット、サクソ、トロンボーンなどで演奏

100万羽の折り鶴づくり

認知症になっても輝けるまちへ「命輝く折り鶴100万羽プロジェクト」の折り鶴作りに個人・登録団体V、Vセンター相談員などが挑戦。きれいな折り鶴が完成しました。



作業の手が弾み、おしゃべりも弾ませながら、楽しい時間が過ぎました。ボランティアセンターで

ボランティアセンター通信

フラワーアレンジメント講習会

～年末・年始にむけて～

かなで 花あそび 花奏

障害者通所施設にて今年度2回目のボランティア活動を実施しました。12月23日、しめ縄づくりと「くるりんぱ」というお題で、半面はクリスマス飾り、半面はお正月飾りつけを作りました。



「クリスマスとお正月の両方に飾ることができて・・・」制作に力が入ります

しめ縄づくりは毎年好評で、縄の向きや飾りつけなど思い思いに選ぶのをお手伝いしたり、どこに飾りつけするのか一緒に考え、のり付けしたりしています。フラワーアレンジメントも取り組んでいるので手慣れたものです。



葉ボタンに紅白の水引～きれいにできあがって「お正月に飾るのが楽しみ」の声も

手作りのクリスマスカードを添えてお持ち帰りしてもらいました。参加者より「しめ縄づくりは楽しい、毎年玄関に飾ってお母さんが喜んでいいる」と。また、スタッフからは「でき上がった作品に、すてきな口上で褒めながら紹介して下さるので、みんながとびっきりの笑顔になります」との声が寄せられました。



若い世代に伝えたい

「昔あそびボランティア養成講座」 受講者のおもい（1面記事から）

□■ 1日目の講座から ■□

- 地域で暮らす住民「赤ちゃんから高齢者まで」のつながりが大切であることを学んだ
- これからのシニアは介護予防ではなく予防的支援で先に動くことが大切
- お節介の意味が「節度のある介(仲立ち)」とは知らなかった

□■ 2日目の講座から ■□

- 昔懐かし遊びがグループで思い出せたことがうれしかった

- 昔の遊びは室内だけの遊びでなく、体全身を使う遊びが多かったことなどを思い出した
- 懐かし遊びを思い出せてうれしかった

□■ 1・2日目をとおして ■□

- 子供たちに何を伝えていくのかをシニア同士で話し合える機会がほしい。いきいきした元気な遊びを子供たちに伝え、双方共に元気に過ごしたい
- 「地域でつながりあうこと」の大切さを痛感

体験から活動のきっかけづくりへ 親子で防災体験教室

1月14日、神田校区福祉委員会ボランティア部会と社協ボランティアセンターの共催で「親子で防災体験教室」を開きました。

「災害、防災」についての関心が高まっている今、親子を対象に、災害時だけではなく平時にも活かすことのできる「AED講習会や初期消火訓練」、「防災食アレンジ料理教室」を体験してもらいました。

その中から子供たちにはボランティア活動の必要性をはじめ、すばらしさや喜びを伝え、これからの地域福祉活動参加へのきっかけづくりを目的に実施されました。



写真上＝模型を使ってAEDの使い方を体験「ちょっと、緊張しました」との声も

写真下＝校庭では初期消火訓練

写真左＝防災食アレンジ料理作りに挑戦

※講師：枚方寝屋川消防組合神田出張所
神田校区福祉委員会V部会

団体・個人登録ボランティアの皆さまへ

現在ボランティアセンターに登録いただいている団体・個人対象に登録更新の確認をしています。令和6年度登録希望の方は申請をお願いします。

- 登録期間：令和6年4月1日～翌年3月31日まで
- 申請方法：団体＝団体登録申請と関係文書をボランティアセンターに提出
個人＝個人登録申請をボランティアセンターに提出
- 提出期限：令和6年3月31日（窓口での受付は平日9時～17時30分まで）

※詳細は当センターまで問い合わせください ☎072-838-0400

令和6年度ボランティア保険受付中（3月1日から）